

エルサルバドル政治経済月報 (2020 年 7 月分)

2020 年 8 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. エルサルバドル国際協力局 (ESCO) の設置

1 日、6 月 30 日に公布された行政令第 24 号によって、大統領府直轄のエルサルバドル国際協力局 (Agencia de El Salvador para Cooperacion Internacional:ESCO) が設置された。ESCO の設置に伴い、外務省国際協力局の役割が ESCO に移行される。

2. 経済活動の段階的再開案第 2 フェーズの延期

(1) 5 日、ブケレ大統領は新型コロナウイルス (COVID-19) の感染状況に鑑み、6 月 16 日より開始している経済活動の段階的再開案第 2 フェーズの開始を 15 日間延期し、7 月 21 日より開始とする旨発表した。

(2) 19 日、大統領府は 21 日より開始を予定していた経済活動の段階的再開案第 2 フェーズの開始をさらに延期する旨発表した。

(3) 30 日、大統領府は、ブケレ大統領が発令した行政令第 32 号 (注) をもって、COVID-19 対策を継続していく旨発表し、経済活動の段階的再開案の今後の予定について、以下のとおり発表した。

第 1 フェーズ : 7 月 29 日-8 月 19 日

第 2 フェーズ : 8 月 20 日-9 月 3 日

第 3 フェーズ : 9 月 4 日-9 月 18 日

第 4 フェーズ : 9 月 19 日-10 月 3 日

第 5 フェーズ : 10 月 4 日以降

(注) 8 月 7 日、最高裁憲法裁判法廷は、行政令第 32 号は違憲であるとの判決を下した。

3. Nuevas Ideas 党内予備選挙の結果

19 日、ブケレ大統領が設立した政党「Nuevas Ideas」は 2021 年 2 月に予定される国会議員選挙及び全国市長選挙の候補者擁立に関する党内予備選挙を実施した。ブケレ政権閣僚等からドウラン総務大臣 (サンサルバドル市長選挙)、エルネスト・カストロ大統領首席補佐官 (国会議員選挙)、ルイス・ロドリゲス大統領府戦略プロジェクト担当補佐官 (国会議員選挙)、スエシー・カジェハス文化大臣 (国会議員選挙)、カルロス・エルマン・ブルッチ大統領補佐官 (国会議員選挙) 等が選出された。

4. ブケレ大統領のイメージに関する世論調査

23 日、ホセ・シメオン・カニャス大学 (UCA) がブケレ大統領のイメージに関する世論調査の結果を発表した。同世論調査によると、ブケレ大統領のイメージを良いと答えた回答者の割合は 57.3% となり、就任 100 日 (昨年 9 月) に行われた同調査の 81.8% から 24.5% 低下した。

5. フェンテス財務大臣の辞任

(1) 28 日、フェンテス財務大臣の辞任が発表された。辞任理由は個人的理由とされている。

(2) 後任には、ホセ・アレハンドロ・セラヤ・ヴィジャロボ財務次官が就任。なお、セラヤ新財務大臣は、自身が関連する企業が、COVID-19 対策用のフェイスガード、75 万ドル分を政府に販売したことが、公務員倫理法に触れる可能性が指摘されている人物。

外交

1. 国連世界食糧計画（WFP）からの支援

2日、WFPによるCOVID-19並びに熱帯暴風雨「アマンダ」及び「クリストバル」で影響を受けた住民を対象とした支援が発表された。エルサルバドル政府はWFPより300万ドルの供与を受けた。右支援は、11,500世帯に対し、2ヶ月間の食糧を購入するための資金として分配される。

2. 中国によるCOVID-19関連対エルサルバドル支援

（1）3日、在エルサルバドル中国大使館は、COVID-19対策の第一線に従事する30の病院の医療関係者等に対し、452個の食料パッケージを供与した旨発表した。

（2）28日、在エルサルバドル中国大使館は、エルサルバドル政府に対し、40万枚の外科用マスク、5万枚のN95マスク、5千着の防護服を供与した旨発表した。

（3）29日、在エルサルバドル中国大使館は、COVID-19の影響をより受けているエルサルバドルの自治体を対象に、外科用マスク及びN95マスクを供与した旨発表した。それぞれの供与枚数については不明。

3. 台湾によるマスクの供与

9日付当地報道によると、台湾政府はエルサルバドルに対し、外科用マスク10万枚を供与した。これらのマスクは、COVID-19感染予防策として、がん患者、障害者、5歳以下の幼児がいる家庭など、脆弱な立場に置かれている人々のために活動している基金や地域団体に供与される。同供与は、エルサルバドル保健人間開発基金（FUSAL）を通じて行われる。

4. 米国によるCOVID-19関連対エルサルバドル支援

20日、在エルサルバドル米国大使館は、COVID-19対策の第一線に従事する関係者用に3Dプリンターの技術によって製作したフェイスガード475枚を供与した旨発表した。右供与はドンボスコ大学のAmerican Spacenによって製作されたもの。475枚のフェイスガードは、イノベーション庁（75枚）、ロサレス病院（100枚）、軍病院（100枚）、サルダーニャ病院（200枚）に配布された。また、他の医療機関に対する同フェイスガードの供与が今後行われる予定。

5. スペイン医療チームの派遣

29日、医師及び看護師計30名から構成されるスペイン医療チームがエルサルバドルに到着した。同医療チームは、COVID-19の感染者への対応専門病院として開院された新大型病院エルサルバドル病院で勤務する。

経済

1. 予算改正法案の可決

2日、当国国会は2020年度の一般会計予算300万ドルを当国保健省へ移管する予算改正法案を可決した。今般可決された予算は、COVID-19のパンデミックに対して第一線で活動する医療及び衛生分野従事者の生命保険並びに終身年金に充てられる。また、本資金を用いて、当局は医療従事者に対し、COVID-19感染防止のための防護服の支給が可能となる。

2. COVID-19による貧困への影響分析

6日、当国最大のシンクタンクである経済社会開発財団 FUSADES は、当国における COVID-19 による貧困への影響分析を公表した。推定される貧困層の人口比率（％）は、2018 年の数値と比較すると、平均約 20 ポイント上回る。右数値は、約 130 万人から 160 万人が新たに貧困に陥ることを意味する。

（１）比較対象とされる 2018 年の貧困データは、同年に実施された多目的世帯調査の結果に基づくものであり、概要は以下のとおり。

（ア）金銭的貧困：人口の 30.9%

（イ）絶対的貧困：人口の 7.3%

（ウ）相対的貧困：人口の 28.8%（53 万 7,826 人）

（２）当国における貧困層の推移及び 2020 年に見込まれる貧困層の割合は以下のとおり。

（ア）2015 年：40.62%

（イ）2016 年：38.2%

（ウ）2017 年：33.8%

（エ）2018 年：30.9%

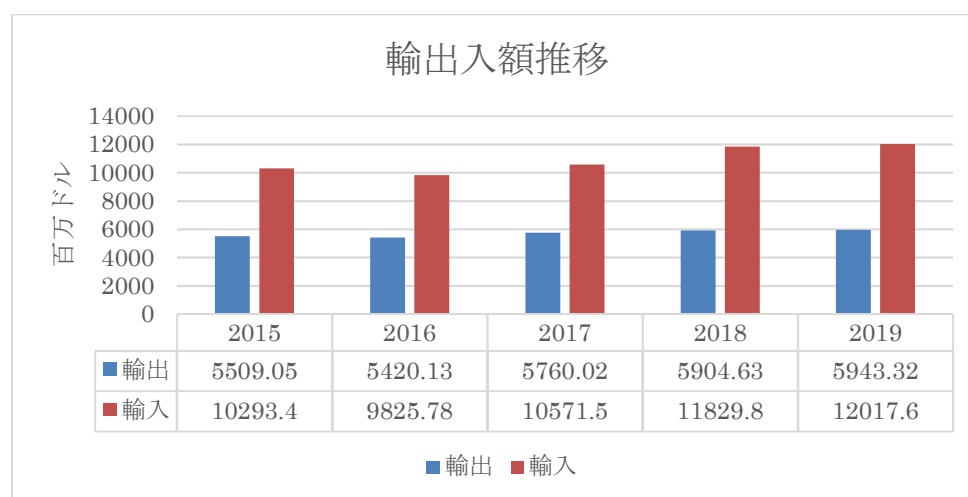
（オ）2019 年：33.7%

（カ）2020 年：51.4%

3. 国債 10 億ドルの発行及び中小零細企業救済に向けた融資プログラム

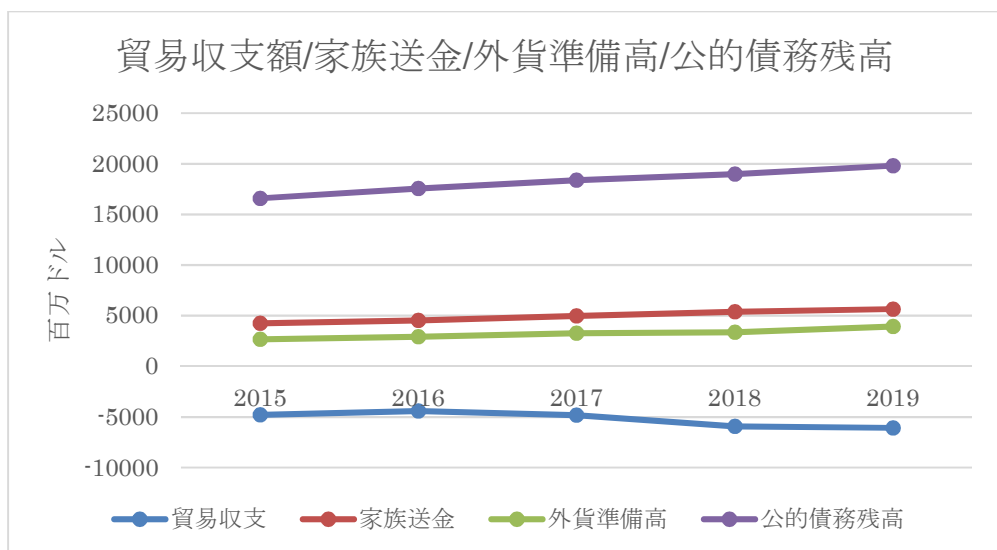
（１）8 日、当国は国際市場において COVID-19 対策に向けた国債 10 億ドルを発行した。右国債の利子は 9.5%、返済期間は 32 年間（2052 年まで）である。本利子の支払いのみで 30 億 4,000 万ドルに上り、2002 年以降最も利子の高い負債である。現段階での公的債務額は GDP 比 70% から 73% と見積もられているが、2020 年度末には GDP 比 90% に達すると予測されている。

（２）9 日、当国国会は COVID-19 の影響を受けた中小零細企業救済のための融資プログラムに向け、貸付 6 億ドルを承認し、同資金の信託基金法を可決した。右は上記（１）の国債 10 億ドルから賄われる。対象企業は、エルサルバドル開発銀行（BANDESAL）から年率 3% の金利で融資を受けることができ、分割返済初回は最長 1 年の支払い猶予期間を有する。また、同融資プログラムは、同信託基金法の施行開始から 12 年間継続される。



（当國中銀データをもとに作成）

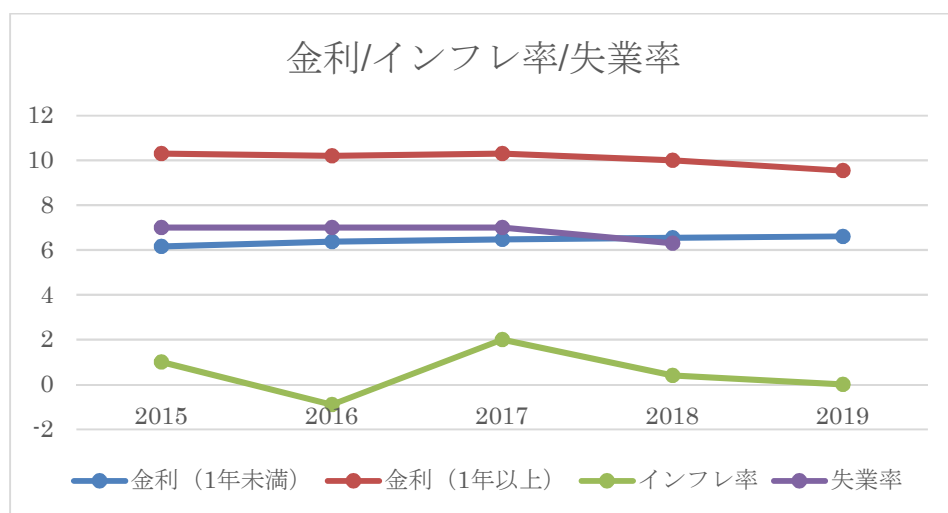
・2019 年の輸出額 5,943.32 百万ドルとなり、前年比 0.66%増加した。輸入額は 12,017.6 百万ドルとなり、前年比で 1.59%増加した。



(当國中銀データをもとに作成)

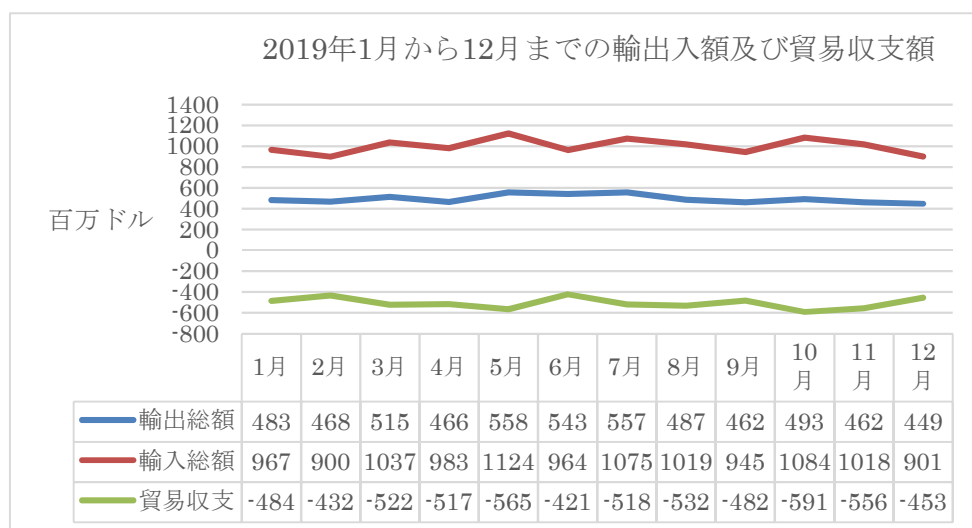
・ 2019 年家族送金額は 5,650.21 百万ドルであった。その内、米国からの送金は全体の 94.9% を占め、米国からの送金だけで総額 5,364.6 百万ドル、成長率 5.2% であった。

・ 貿易収支は-6074.2 百万ドルとなり、前年比-149.08 百万ドルであった。

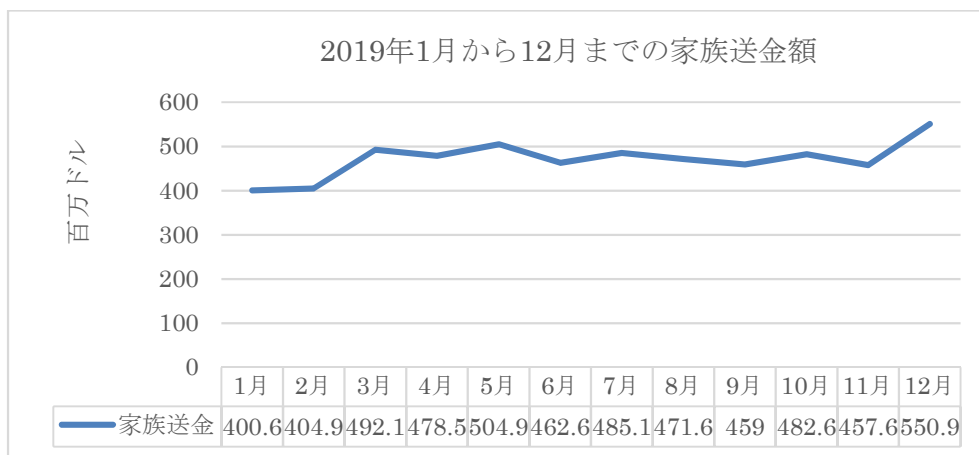


(当國中銀データをもとに作成)

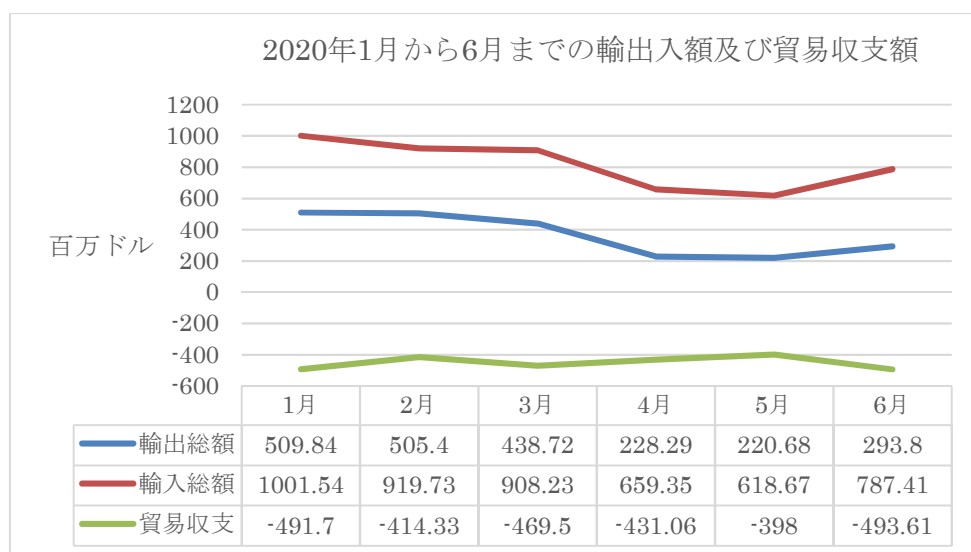
・ 2019 年のインフレ率は-0.004%となり、前年と比較し、0.434 ポイント減少した。



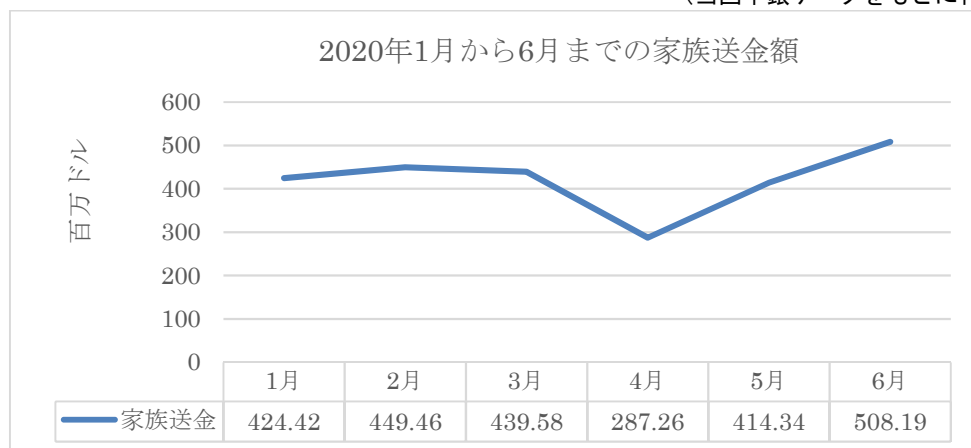
(当國中銀データをもとに作成)



(当國中銀データをもとに作成)



(当國中銀データをもとに作成)



(当國中銀データをもとに作成)

治安

【主要事件・報道】

1. エルサルバドルにおける人権状況（報道）

国家文民警察、検察庁、人権擁護検察局からの統計に基づいて作成された、ホセ・シメン・カニヤス大学の人権監視センター(UDH)の報告書「エルサルバドルにおける人権状況」の概要は最新の統計は以下のとおり。

（１）麻薬密売人による暴力や、ギャングによる脅威から逃れるため、国内で強制移住や失踪したエルサルバドル人は、2019年の１年間で450,000人に上った。2018年の246,000人と比較すると2019年は45%増であり、それらは首都圏に最も集中していた。

（２）2019年、エルサルバドル国内における人口10万人あたりの殺人事件数は36件、また国内における被害者が女性の殺人事件数は230件であった。2018年との比較においていずれも減少した（2018年の人口10万人あたりの殺人件数は51件、被害者が女性の殺人事件数は386件）。

（３）2019年、当局とギャング組織間の銃撃戦は294件発生し、その結果、死者201名（ギャング188名、ギャング組織に属さない5名、警察官7人、軍人1名）と負傷者76名に上った。なお負傷者1名あたりの致死率が、1人から2.5人に悪化したことで、過剰防衛として治安機関関係者104名が逮捕された。

（４）2019年の各種性暴力犯罪被害者5,469人のうち、女性が91%、男性が7%、また被害者の73.7%が0歳から19歳となっている。

（５）2019年、検察庁は、3,093件の失踪事件を登録。2018年数値と比較して10%減少したが、他方、警察側の登録では、2,875件と記録されており、両者の件数に不一致が生じている。

（６）報告書は、エルサルバドル政府には、犯罪被害を防止し、犯罪者、特に犯罪組織に対する処罰を行う義務があるが、その任務遂行が暴力、治安の悪化、人権侵害、権力の乱用に転じてはならないとしている。

2. サンベニート地区における殺人事件の発生（報道）

7月に入って判明した事件として、6月9日19時45分頃、サンベニート地区44番地とCalle Cirunvalacionの周辺で、男性（33歳）が、何者かによって銃撃され病院に搬送され、その後搬送先の病院で死亡が確認された。犯行に際し、犯人はバイクを使用した模様であるが、犯人や犯行動機に関しては判明していない。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域	レベル2: 不要不急の渡航中止区域
国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパング湖	
サンタテクラ旧市街	

コアテペケ湖
セロベルデ自然公園
エル・ピタル山
ラ・パルマ市
サンタ・テレサ温泉
スチット旧市街
サン・アンドレス遺跡
タスマル遺跡
カサ・ブランカ遺跡
サンタ・アナ旧市街
オロメガ湖
エル・ホコタル湖
サン・ミゲル市
オロクイルタ市